

演劇青春塾わにまーる

シアターワーク豊中そらまめ

コース
初動
事業

申込内容

■事業の概要

家庭や学校などで生きづらさを感じている青少年とともに、演劇創作活動を通じて、人生を楽観し、笑うことができる想像力を高める身近なひとときの居場所をつくる。

■目的

演劇による地域市民文化活動をすることで、文化、教育、福祉、環境の魅力ある人づくり、まちづくりを推進すること。

■交付決定額 100,000 円
(事業予算 173,800 円)



◎活動の様子

10月18日(土)、桜塚商店街のおかまちコミュニティカフェk i t t oでシアターワーク豊中そらまめによる青春演劇塾わにまーるが行われました。今年6度の開催で、毎回顔ぶれが変わり、様々な方が参加されています。この日は、以前に演劇を経験したのが楽しかったことから中学1年生と小学6年生の姉妹が参加されました。



まずは深呼吸して、演劇の基本となる腹式呼吸による発声の練習。少しずつ変化をつけながら繰り返すことで、呼吸と発声の関係を身体が理解していきます。

ひと段落すると、次は呼吸と発声に身体の動きが加わったゲーム。一定のリズムに合わせてながらの連想ゲーム「マジカルバナナ」や続くほどに手をたたく回数を増やしていく牛タンゲームなど、どれも頭

と身体と声をうまくつないで他の人とコミュニケーションをしないと続けられないゲームばかり。どこか表情の固かった参加者からも笑顔がこぼれ、楽しい雰囲気に変わってきます。

最後に、演劇でよくする滑舌の練習として、北原白秋『五十音』(あめんぼあかいなアイウエオ)を復唱しながら、『五十音』の内容と意味の説明もききました。

「そらまめ」は「空真芽」と書き、空に伸びる真実の芽です。キャッチコピーは、元気と笑顔のお届け便。演劇の手法によって、人との付き合いの面白さがわかったり、人付き合いの苦手な人に元気になってもらえれば」と代表の務川さん。参加者からは、「おもしろかった、また参加したい。」「五十音の意味がわかって楽しかった。」という声がありました。

「今後の課題は、広報。今の参加者は口コミ中心だけれども、もっといろいろな人に活動を知ってもらえるようになっていきたい。高齢者施設での活動も決まっており、今後はk i t t o以外での活動もしていきたい。」と務川さんは話していました。

◎今後の予定(平成26年度)

- 11月 演劇練習 創作バラエティをつくろう
- 12月 演劇練習 創作劇をつくろう
- 1月 演劇練習 創作劇をつくろう
- 2月 演劇練習 創作劇をつくろう
- 3月 演劇練習 創作バラエティ・創作劇を発表しよう